

3. 教育・研究者育成のための履修モデル

実践看護学分野		論文コース（女性健康看護学）							
<p><履修科目></p> <p>共通科目では、必修の4科目に加えて、女性の健康を考える基盤としての「生命倫理」と倫理的意思決定モデルを学び看護倫理教育への活用を考える「看護倫理」を選択する。</p> <p>専門科目では、基盤・機能看護学分野から教育学の理論や本質を学ぶ「看護教育学」を選択する。</p> <p>実践看護学分野からは、「女性健康看護学特論Ⅱ(ウィメンズヘルス)」を選択し、社会構造の変化に伴う女性の心身の健康について学ぶ。次いで女性のメンタルヘルスの課題ともなっている「アディクション看護学」とメンタル面のサポートを考える「リエゾン精神看護」を選択する。「実践看護学演習Ⅰ」、「実践看護学演習Ⅱ」では、女性のライフスタイルに関する理解を深め、女性の健康を追求するコースを選択し、文献講読や討論を通して自らの研究テーマの焦点化を行い、「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」の実施につなげる。</p>									
科目区分	研究分野	授業科目	単位			授業を行う年次と単位配分			
			必修	選択	自由	1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
共通科目		保健医療福祉特論	1			1			
		保健統計学	2			2			
		看護研究Ⅰ（概論）	2			2			
		看護研究Ⅱ（量的・質的研究）	2				2		
		生命倫理		1		1			
		看護倫理		1			1		
専門科目	基盤・機能看護学	看護教育学		2		2			
	実践看護学	女性健康看護学特論Ⅱ（ウィメンズヘルスケア）		2		2			
		アディクション看護学		2		2			
		リエゾン精神看護		1		1			
		実践看護学演習Ⅰ		4		(2)	(2)		
実践看護学演習Ⅱ		4		(2)	(2)				
科目研究		特別研究Ⅰ	2			(1)	(1)		
		特別研究Ⅱ	4					(2)	(2)
小計			13	17		18	8	2	2
計			30単位						
修了後の進路		女性の心身の健康を多角的に捉え、女性の健康をサポートするための方策を探求することを通じて、看護の研究開発に寄与できる素養を備えた研究者や、看護学生に対する臨床実習指導、看護師に対する教育的役割を果たす看護師として、また、基礎教育および継続教育を担当する教育者としての活躍が期待できる。							